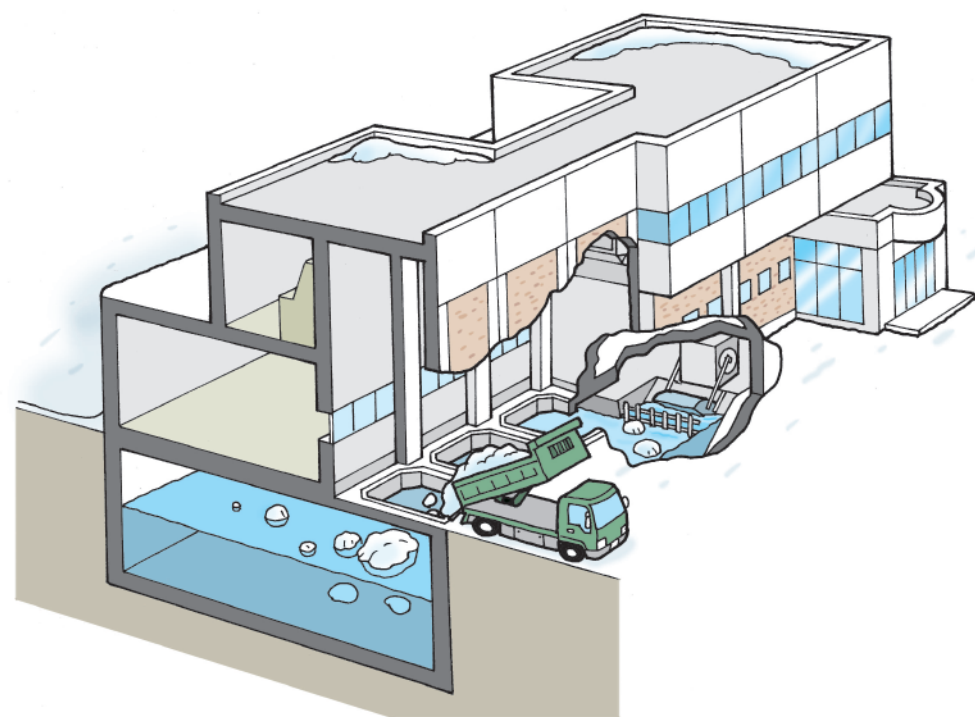
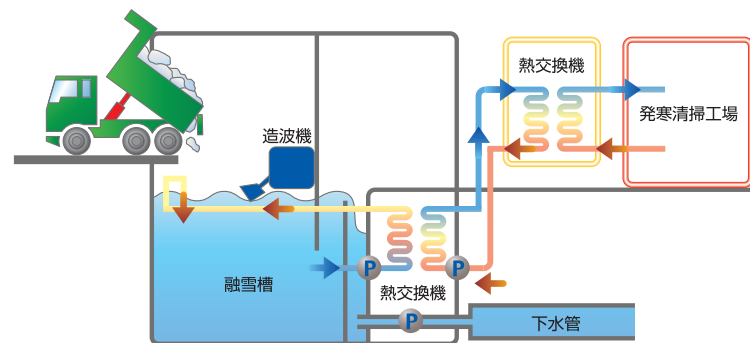


発寒融雪槽

土地利用の高度化など、将来の市街化による雨水流出量の増大に対応する発寒雨水調整池は、冬期間には流入する雨水がないことから、隣接する発寒清掃工場のごみ焼却余熱を利用して、融雪槽として活用するものです。

施設概要

位置	札幌市西区発寒14条14丁目1081 (発寒工業団地内)
事業	下水道事業 (積雪対策下水道事業)
供用開始	平成7年2月
槽の容量	1,900m ³ (幅14m×長さ17m×水深8m×1池)
熱源	発寒清掃工場のごみ焼却余熱
利用熱量	約5Gcal/hr=5,000,000kcal/hr
融雪能力	日中もしくは夜間2,200m ³ /日 (ダンプトラック約160台)
融雪促進	造波機による攪拌
投雪口	3か所 (ダンプトラックによる直接投入)
放流先	公共下水道



発寒下水道管投雪施設

発寒下水道管投雪施設は、西区と手稲区の境である追分通の中央分離帯に整備された施設で、幹線道路に設置されているため、排雪トラックの交通アクセスにも便利であることが特徴です。

施設概要

位置	札幌市西区発寒16条14丁目
事業	下水道事業 (リサイクル推進事業 再生資源活用型)
供用開始	平成12年1月
管径	□4,000×4,000mm (合流管きよ)
熱源	未処理下水 (手稲処理区)
融雪能力	日中もしくは夜間2,800m ³ /日 (ダンプトラック約200台)
投雪口	1か所 (ダンプトラックによる直接投入)、幅3.0m×長さ4.0m

